



たじき みちひろ 議員
田食 道弘

質問

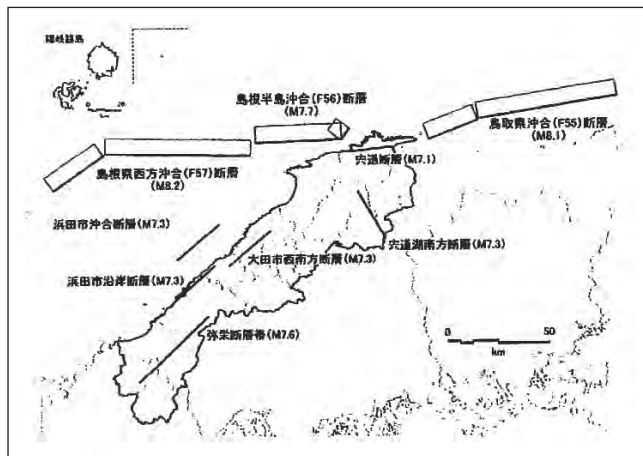
女性農業委員誕生へ取り組みは

町長

活動周知と環境づくりに尽力



全国で高まる女性農業委員割合



町内に断層が存在 (ハザードマップより)

質問 町の男女共同参画計画では、農業委員会における女性委員を来年度までに3割に高めると掲げてあり、本町では6人の女性農業委員が必要。しかし来年度交代期の応募には女性の応募はゼロだ。目標との乖離を解消するために、次期交代期までに女性農業委員誕生への機運醸成、環境づくり、委員会活動等見直しが必要ではないか。

町長 次の改選は令和11年度になる。まず農業委員の業務を広報等で周知し、活動を知っていただき、安心して応募いただける環境づくり、女性が農業関係の会合に参加し意見が出しやすい雰囲気づくり、農業関連の女性グループの結成などに取り組みたい。

質問 令和9年度からの第4次男女共同参画計画の策定作業を開始する時期だが。

町長 8年度から準備するが、国の目標に沿って達成をめざす。特定の方に集中することなく、多くの女性に委員等になっていただきたい。女性の方の意見を聞きながら計画を策定したい。

質問 1月6日の県東部地震の本町の対応について、反省点、問題点は何か。

町長 日中の地震にも関わらず館内放送による来庁者への情報提供の不足、消防団との情報共有不足があった。庁舎では、地震など様々な災害

地震対応を教訓に災害対応の改善を

想定による訓練が必要だと考えている。

質問 改めて配布されたハザードマップを活用し、地域に向いて町主催の学習会とか、自主防災組織の学習会で町から説明してはどうか。

特に、ハザードマップ記載の奥出雲町にある断層について認識してもらうなど。

その他の質問

貴重な文化遺産、歴史資料の保存・活用

総務課長 地域の防災学習会を、年1回は開催してもらおうようお願いしている。今後は新しいマップを活用し、防災意識の啓発に努めたい。